



# SHIKA-CHU IB Journey

鹿追中学校国際バカロレア通信



## 祝・卒業



Middle Years  
Programme

鹿追町立鹿追中学校  
IBCO 奥平 和也  
2026.3.23 Vol.44

去る3月13日。第79回卒業証書授与式が行われ、本校3年生、39名が立派に巣立っていきました。



## 「変化の激しい時代を、自分らしくたくましく生き抜く力」を

**育むこと**を掲げ、その手段として導入されたIB教育を、3年間を通して受けてきた最初の世代として、私たちとしても自信と誇りを持って次のステージへ送り出せる。そんな成長ぶりを魅せてくれた素晴らしい三年生でした。

卒業式での彼らの勇姿は私たち教員にも、「ああ、こういう気持ちで送り出すために私たちは日々頑張っているんだよな。頑張ってきて良かったな。」そんなことを再確認させてくれるものでした（学年団の先生方も全員涙していたように思います。やられましたね笑）。

## 想像を超えた成長の鍵「リスペクトの精神」

私は3年間、副担任として彼らと関わらせていただきました。IBコーディネイターとしても、彼らの頑張りには感謝しかありません。

私たちのこれまでの常識や想像を大きく越えていった彼らの個人・集団両面の成長を支えたものが何であったのかを考察する時に、真っ先に私の頭に浮かぶのが彼らが持つ「リスペクトの精神」です。IBのミッションステートメント（組織の使命）に

も、「多様な文化の理解と尊重の精神」という言葉が一番上に掲げられていますが、まさにそんな精神を日常で体現していたのが彼らでした。彼らが教室に生み出した心理的安全性が、彼ら自身の学びや挑戦を強く後押しする瞬間を目の当たりにしてきました。もっと言えばそれは、我々教員の学びや挑戦すら後押しをしてきていたのです。

裏を返せば、あらゆる人間関係の問題の根底にはこの「理解と尊重の精神の欠如」が潜んでいる様にも思えます。こう考えれば「Respect」ってとても大事な概念ですよ。そして当たり前前で、習慣のように身につけるのは簡単なことではありません。

## 「Respect」は育むことができるスキル

彼らも最初からこのリスペクトの精神を完璧に携えていたわけではありません。この3年で担任を務めた勝見先生と大井先生の温かい働きかけを始め、様々な学びや経験の中で葛藤や喜びとともに育んできたものです。リスペクトの精神は個性のように持って生まれるものではなく、「育むことができるものだ」ということ、そしてそれが、日々の学びに拍車を掛けるための大変重要なスキルであるということ。そんな大切なことを私は彼らの3年間の成長から改めて学ばせていただきました。

彼らが残したレガシーを、この先の鹿中生に継承していくためにはどんなアプローチができるのか？ まず何より有効なのは「目の当たりにすること」だと考えますが、これは卒業生が成し遂げてくれました。このバトンをどう活かしていくのか、これからみんなで考えていきたいと思います。

## 成長の証：ポスタープレゼンテーション

今回最後に共有するのはそんな三年生の英語科最後の単元で実施した「ポスタープレゼンテーション」の様子です。全員分は多過ぎるので、今回は鹿追高校に進学予定の生徒に絞ってご紹介します。動画のどこを切り取っても、自信と共に堂々と語る素晴らしい表現力です。お時間あればぜひご覧ください。（本当は3年生の素晴らしい合唱もこちらで共有したかったのですが、涙顔の顔を見られたくないと叱られてしまいそうなのでここではやめておきたいと思います。笑)

→[https://drive.google.com/drive/folders/1LIA\\_uWj1ma6Ki5R8YATqQBkNciXserM8?usp=sharing](https://drive.google.com/drive/folders/1LIA_uWj1ma6Ki5R8YATqQBkNciXserM8?usp=sharing)

いかがでしたでしょうか？

本町こども園、小学校の先生方をはじめ、彼らとこれまで関わってきてくださった地域の皆様、彼らはこんなにも立派に成長し

ました。

高校の先生方、彼らが更に飛躍できるよう、これからの3年間、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

加えて中学校の先生方、この姿は、決して英語科だけの手柄ではありません。先生方が各教科の総括的評価課題の実践を通じて、3年間じっくりと『伝える力』の土壌を耕し続けてくださったからこそ咲いた、**学校全体の学びの結晶**です。

彼らが担っていくのなら、未来の鹿追町も安泰です。そして毎年そんな思いで卒業生を送り出していけるよう、職員一同、また1日1日を大切に積み上げていきたいと思えます。次に控える1-2学年も今年度の3学年に負けず劣らずの素晴らしい素質を持っています。どうぞ引き続き、本校の歩みにご期待とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

バックナンバー2024	概要
<p><a href="#">鹿中 IB 通信NO.1</a></p> <p>↑クリックするとアクセスできます。</p>	<p>この通信の趣旨や<b>国際バカロレアとは何か?</b>について書いています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信NO.2</a></p>	<p>年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーションについて書いています。<b>当日の動画や資料も見られます。</b></p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信NO.3</a></p>	<p>こちらは保護者向けの IB オリエンテーションと、同日行われた<b>参観授業（国語）をIB視点で解説</b>しています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信NO.4</a></p>	<p>参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を<b>《概念》</b>と絡めて書いています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信NO.5</a></p>	<p>参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から<b>《IBで知識の定着にかける時間が減る問題》</b>に対する工夫について紹介しています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信NO.6</a></p>	<p>IB教育の大きな柱である<b>ATLスキルと10の学習者像</b>とはどういったものかについて、<b>道徳の授業実践</b>を元に解説しています。</p>

<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,7</u></a></p>	<p>十勝毎日新聞の記事になったというお話と、1学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,8</u></a></p>	<p>子どもたちが「<b>総括的評価課題</b>」に取り組む様子の紹介と、2学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,9</u></a></p>	<p>「<b>SA</b>」「<b>CP</b>」についての説明の前段としてのお話と、3学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,10</u></a></p>	<p>「<b>SA</b>」についての具体的な説明や生徒たちの夏休みの宿題について書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,11</u></a></p>	<p>「<b>コンサルタント訪問</b>」についての説明や面談に向けての生徒や保護者のみなさまとのやりとりについて書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,12</u></a></p>	<p>「<b>コンサルタント訪問</b>」の実際の中身と主に生徒たちの面談での応答について紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,13</u></a></p>	<p>「<b>文化祭と日常の学びの繋がり</b>」について書いています。《前編》</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,14</u></a></p>	<p>「<b>文化祭と日常の学びの繋がり</b>」について書いています。《後編》</p>

<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,15</u></a></p>	<p>「コミュニティプロジェクト」についての説明と発表会の告知をしています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,16</u></a></p>	<p>2学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の内容と目的について紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,17</u></a></p>	<p>保護者懇談会の中身と生徒の総括的評価課題の成果物について紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,18</u></a></p>	<p>2学年の総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」の内容と目的について紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,19</u></a></p>	<p>2学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の発表会のお知らせをしています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,20</u></a></p>	<p>「未来への提案」の発表会の動画と、「総合的な学習の時間と各教科学びの繋がり」について書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,21</u></a></p>	<p>「自分探究プロジェクト」の実践のひとつについてのご紹介と関係するイベントの告知をしています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,22</u></a></p>	<p>IBに関するPTA保護者のみなさまとの座談会の模様についてご紹介をしています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,23</u></a></p>	<p>コンサルティング終了と認定に関しての取組について書いています。</p>

<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,24</a>	実際に鹿追中学校が認定されたらどうなるのかについて書いています。
--------------------------------	----------------------------------

バックナンバー2025	概要
<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,25</a>	この通信の主旨や既習事項のリサイクルについて書いています。
<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,26</a>	2025 年度の IB 概要説明（生徒向け）の模様について書いています。当日の資料や動画もご覧いただけます。
<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,27</a>	本校生徒の活躍の一コマと、6月から始動する総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」と「コミュニティプロジェクト」について書いています。
<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,28</a>	「体育祭」の改革と、修学旅行発表会のお知らせについて書いています。
<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,29</a>	2025 年度 Unit 1 の各教科総括的評価課題の概要について紹介しています。
<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,30</a>	「目指す生徒像」について書いています。
<a href="#">鹿中 IB 通信 NO,31</a>	「瓜幕中学校の視察」について書いています。

<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,32</u></a></p>	<p>IB の保護者向けワークショップのご案内について書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,33</u></a></p>	<p>日々の取組の様子について、写真でダイジェストにお届けしています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,34</u></a></p>	<p>日々の取組の様子について、写真でダイジェスト第二弾です。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,35</u></a></p>	<p>授業の中で探究のサイクルを実践していくことのメリットの一つについて書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,36</u></a></p>	<p>鹿追町立図書館での IB の取組と探究の町として発展していくためのキーポイントについて書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,37</u></a></p>	<p>探究の町として発展していくためのキーポイントとして都留文科大学との交流について。そして IB 教育実習生の視点から見た本校の様子について書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,38</u></a></p>	<p>本校生徒のクラウドファンディングへの挑戦について、また多方面に渡る生徒の活躍ぶりについて紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,39</u></a></p>	<p>コミュニティプロジェクト（CP）報告会のご案内と、各グループのプロジェクトタイトルについて紹介しています。</p>

<a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,40</u></a>	全体懇談会の中身と、1-2学年の保護者の皆様にご覧いただいた IB の学びを経た生徒の姿について書いています。
<a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,41</u></a>	本校の正式な IB 認定のご報告と、IB 導入が決まってから3年間の歩みについて書いています。
<a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,42</u></a>	文科省で記者会見をしてきたことについて書いています。
<a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,43</u></a>	IB の学びと家庭学習、生活習慣の関係性について書いています。